

◆令和7年1月～12月事故の状況◆

【事故の特徴】

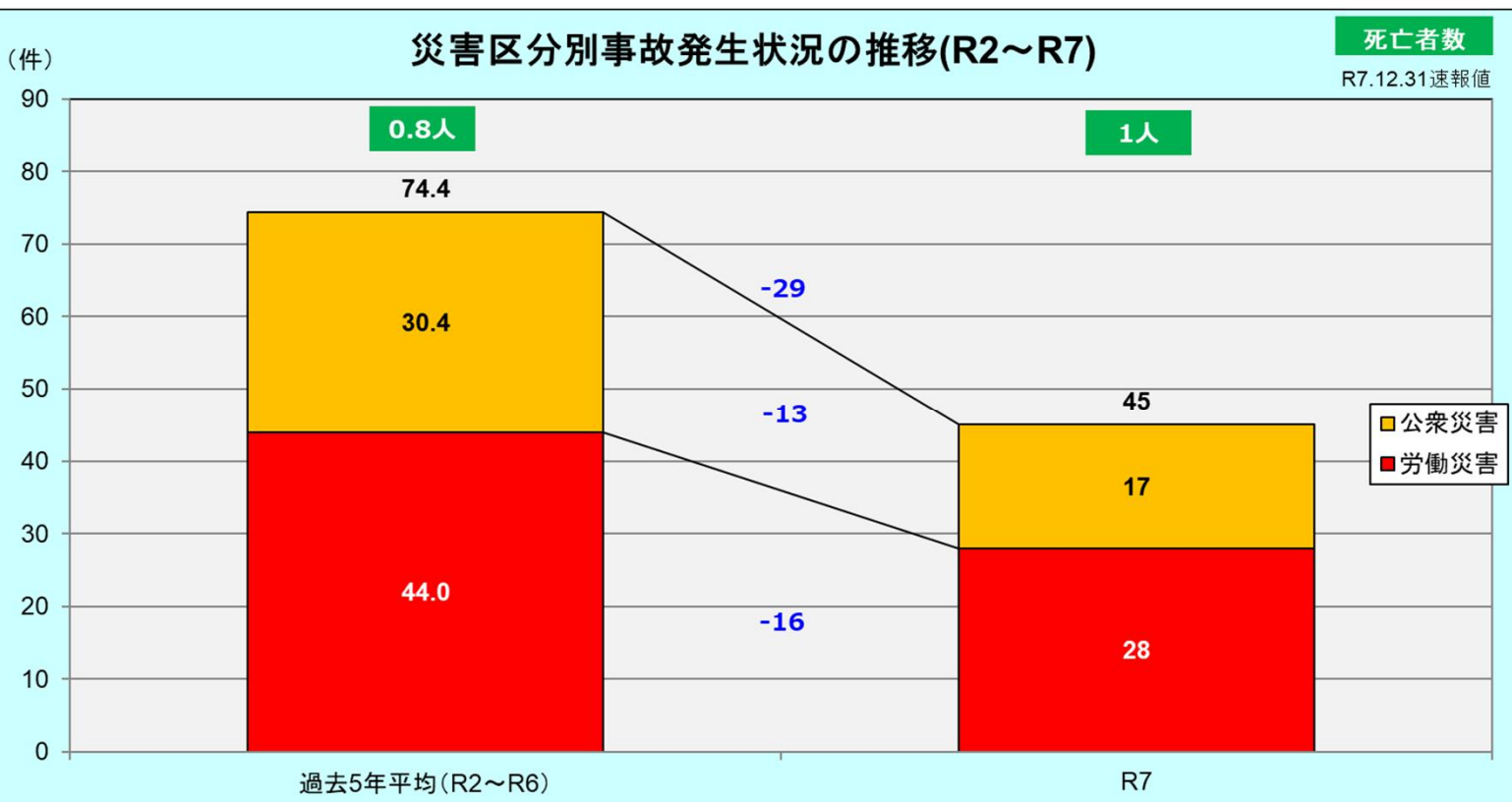
- ☆労働災害と公衆災害を合わせた事故全体の件数は、45件発生しており過去5年平均に比べ29件減少しています。
- ☆労働災害は、28件と例年より16件少なくなっています。
- ☆休業4日以上労働災害は10件発生し、1件の死亡事故が発生しています。
- ☆公衆災害では架空線に接触する事故が例年より増えています。架空線、埋設物等の切断事故は社会的影響が極めて大きいことから、接触、切断事故の防止対策の徹底をお願いします。

- ・ 冬は作業員の体調不良や、路面の凍結・積雪による転倒が増えてきますので注意しましょう。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。

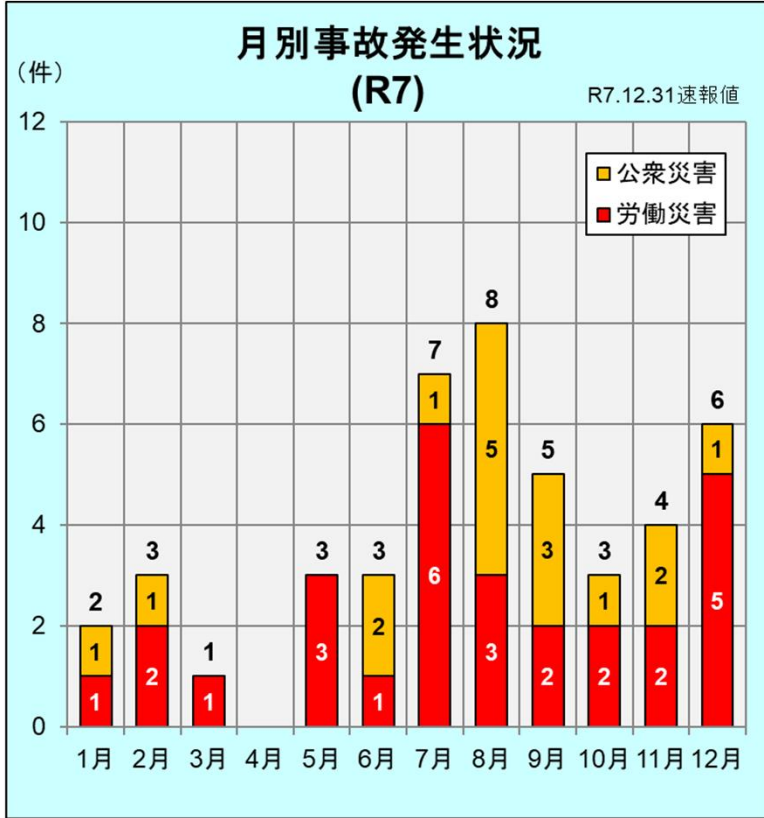
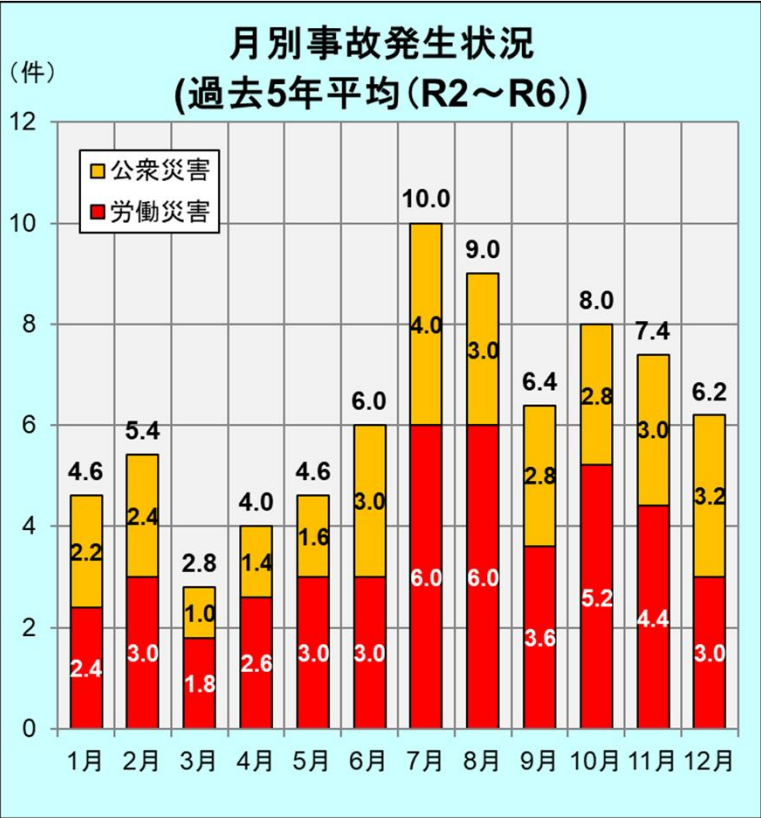
～工事事故の発生状況～

令和7年1月から12月までの事故件数45件で過去5年平均と比較する29件少ない状況です。労働災害は28件、公衆災害は17件発生しており、過去5年平均と比較してともに減少しています。



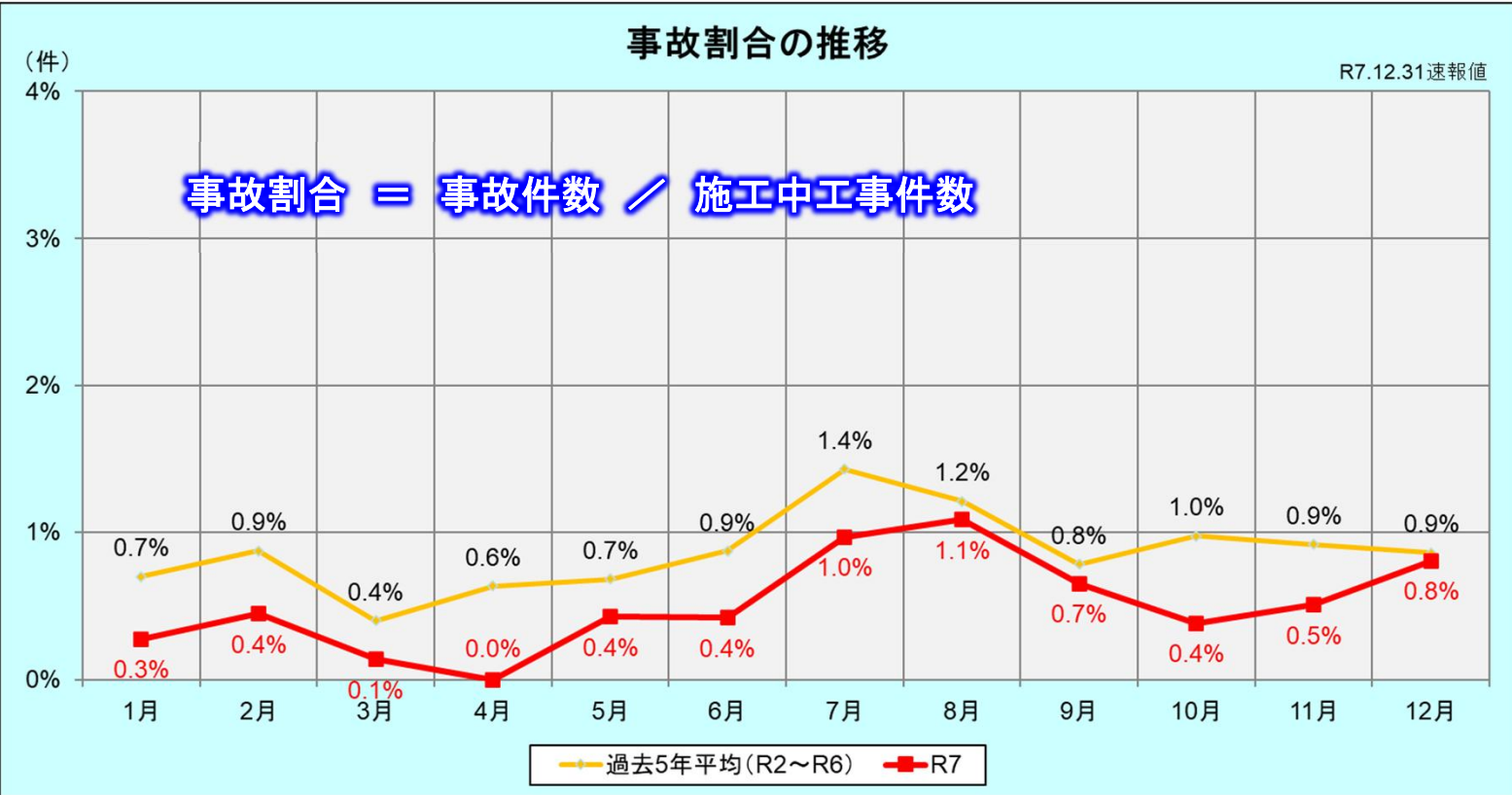
・月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、ほぼ全ての月で減少しています。



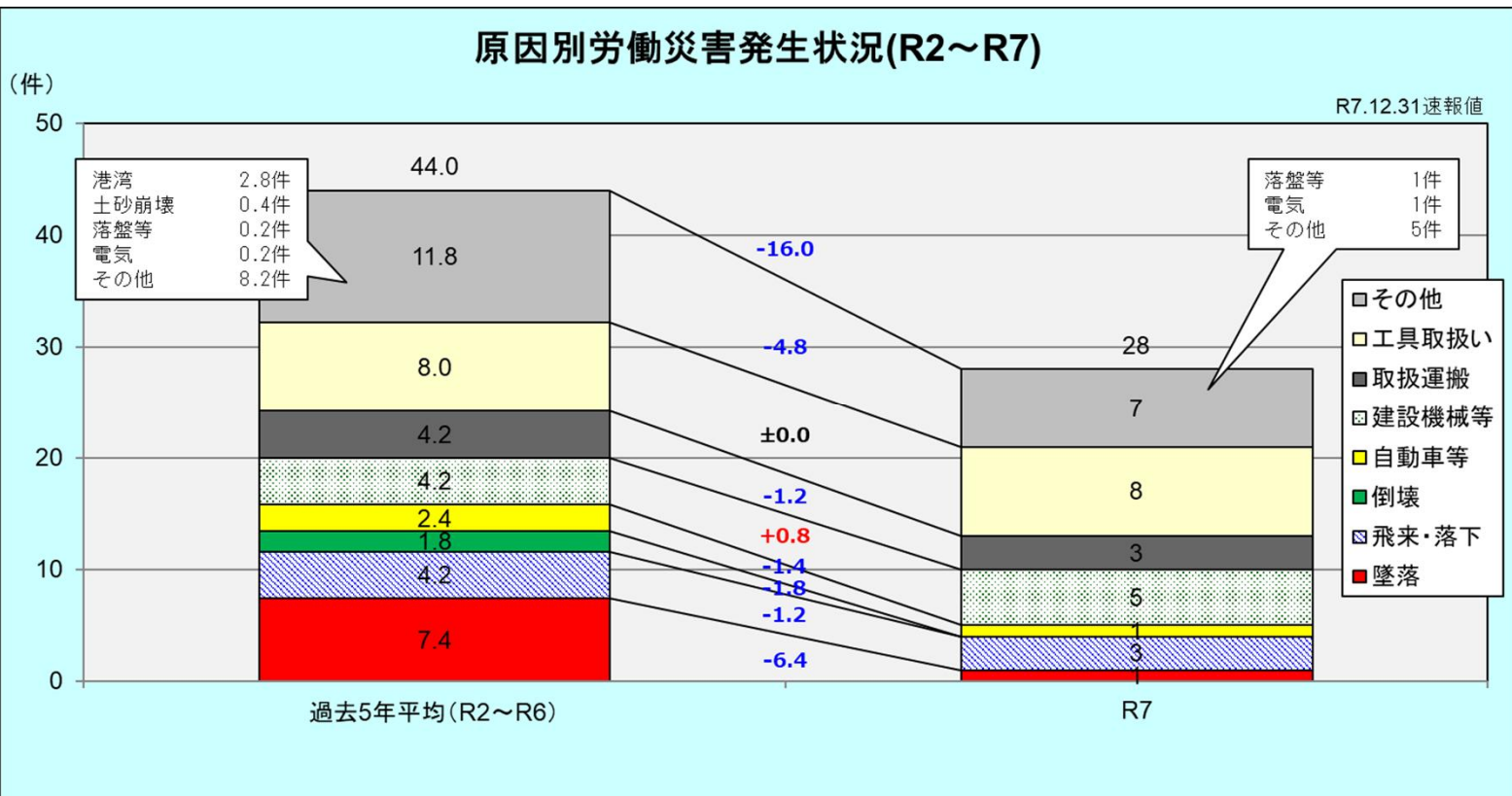
・事故割合

過去5年平均の事故割合の推移と比較すると全ての月で減少しています。



・労働災害の原因別事故発生件数

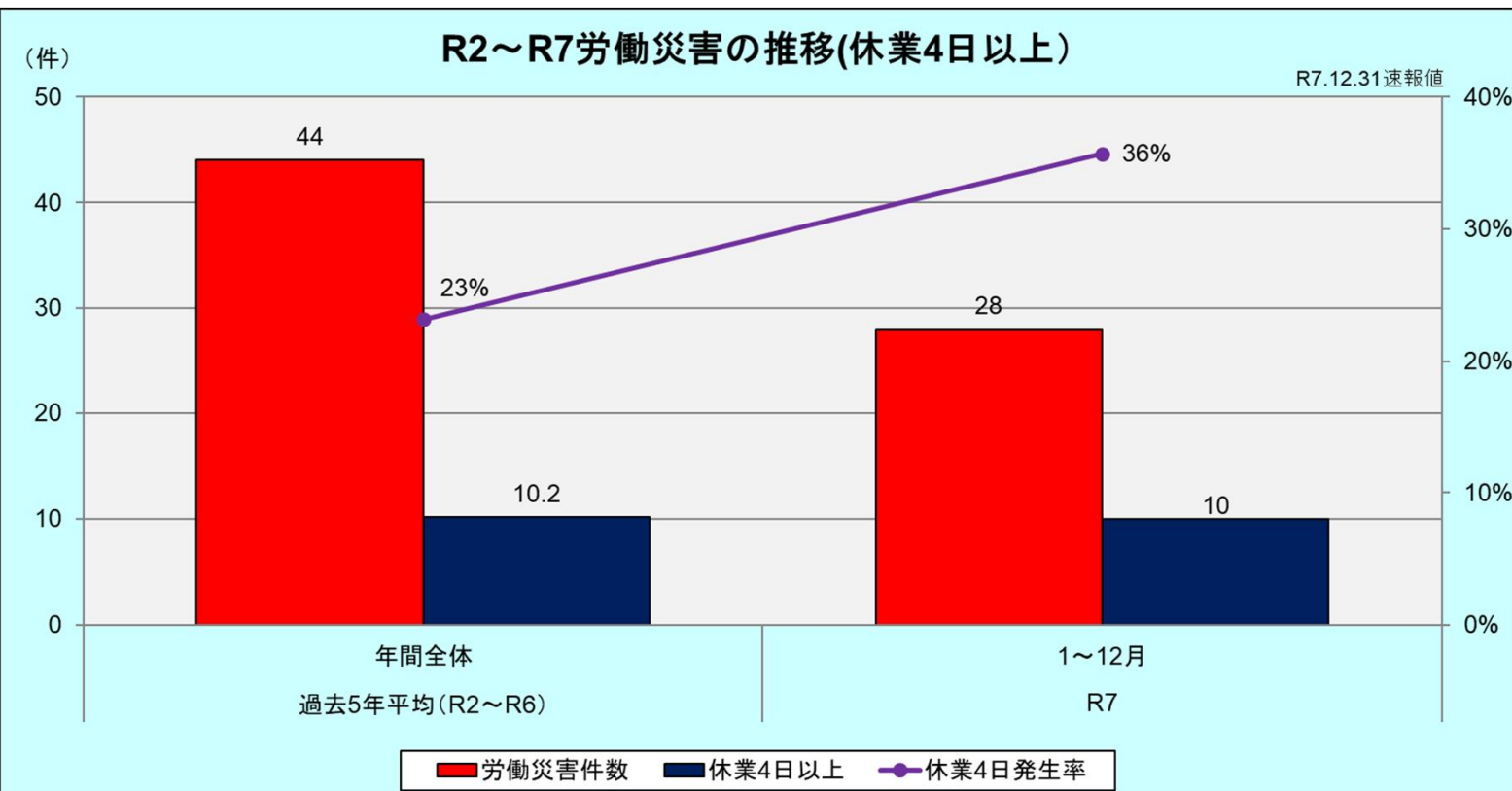
令和7年1月から12月までの労働災害は過去5年平均と比較すると減少しています。過去5年平均と比べ、墜落が大きく減少しています。



※その他:転倒・土砂崩落・電気・爆発・港湾・その他事故等

・休業4日以上事故発生状況

今年1月から12月までの労働災害28件のうち、10件が休業4日以上事故となっています。過去5年平均と比べると重大事故の割合は23%から36%に増加しています。

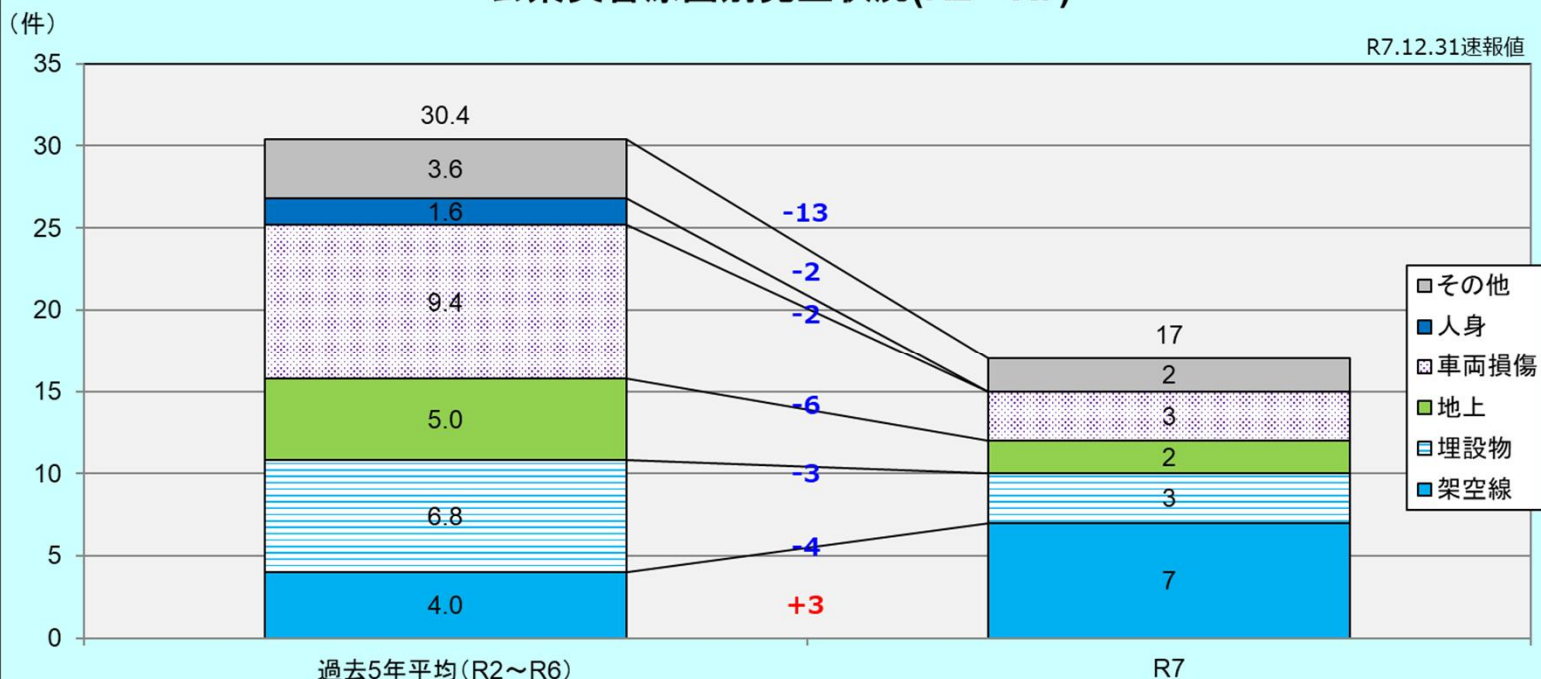


・公衆災害の原因別発生状況

令和7年1月から12月までの公衆災害は過去5年平均と比較すると減少しています。
過去5年平均と比べ、架空線が増加、それ以外は減少しています。

公衆災害原因別発生状況(R2～R7)

R7.12.31速報値



休業4日以上は建設工事事務データベース（SAS）に登録

- ・建設工事事務データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事務対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・休業4日以上の建設工事事務事故等を対象に、登録に必要な事故番号、パスワードを発注担当課長等に通知しますので、受注者・発注者は、インターネットを利用して登録（入力）してください。

✓ <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

【問合せ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 白井